

# 出穂間近！斑点米カメムシ類の適期防除をお願いします！

宮城県米づくり推進本部  
令和6年7月23日

- 水田の周辺草地及び本田で斑点米カメムシ類が多発しており、宮城県病害虫防除所から7月19日付けで注意報第1号が発表されました。
- 水田における薬剤防除は、「穂揃期」と「1回目防除から7～10日後」の2回が基本です。ただし、イヌホタルイが多発しているほ場では、1回目の薬剤散布を「出穂始～穂揃期」に早めて行うと効果的です。
- 間もなく出穂期を迎えます。今後、水田周辺の畦畔や雑草地の草刈りを行うと、斑点米カメムシ類を水田内に追い込むこととなります。やむを得ず草刈りを行う場合は、草刈り後ただちに水田への薬剤防除を実施してください。

## \*予報の根拠\*

- ① 斑点米カメムシ類の発生時期 → 早い！
- ② 斑点米カメムシ類の発生量 → 多い！
- ③ 向こう1か月の平均気温 → 高い！

水稻の出穂時期と  
カメムシ類の発生時期が  
重なる可能性が高い！

## \*中生品種の出穂予測(7月16日現在)\*

移植時期		出穂期
5月3日	→	7月24日
5月12日	→	7月30日
5月23日	→	8月7日

注)「ひとめぼれ」の予測。  
県内アメダス地点の日平均気温、  
移植時期、移植時の葉数を用いて  
予測したもの。

※地域・品種・今後の天気によっては、これよりも早く出穂することが見込まれます。  
ほ場をよく観察し、適期に防除を実施しましょう。



写真 アカスジカスミカメ



ホソハリカメムシ



クモハリカメムシ

(提供:いずれも宮城県病害虫防除所 7月19日発行 令和6年度発生予察情報注意報第1号より)

(参考)宮城県病害虫防除所 令和6年度発生予察情報 注意報第1号(7月19日)

<https://www.pref.miyagi.jp/documents/45756/r06chuiho01.pdf>

令和6年度宮城県米づくり推進本部情報第1号(7月19日)

<https://www.pref.miyagi.jp/documents/39405/r6komedukuril.pdf>

注意報第1号

